



防災対策 情報便

発行日	令和元年 7月 31日
発行元	災害対策課
所属長	課長 馬淵 勉
電話	06-6489-6165

1 津波等一時避難場所を追加指定します。

令和元年 8月 1日(木曜日)から、次の施設を津波等一時避難場所に追加指定します。

施設名	所在地	収容人数
園田学園中学校・高等学校 清明ホール	南塚口町 1-24-16	450人

今回の施設の追加・変更指定で、合計 360 施設 (361,420 人) となります。

2 停電情報アプリ「関西停電情報」の運用が開始されました。

関西電力株式会社は、スマートフォン等に停電情報をプッシュ型で通知する無料アプリ「関西停電情報」の運用を開始しました。

当該アプリをダウンロードし、あらかじめ地域を登録しておくことで、その地域で停電が発生した場合に、スマートフォン等に停電情報が届き、復旧見通しなども確認できます。

災害に備えて、ダウンロードしておかれてはいかがでしょうか。

主な機能

- 1 停電情報をプッシュ通知でお知らせします。
- 2 最大 10 地域まで登録地域を設定できます。
- 3 関西全域の停電情報が一目で確認できます。
- 4 詳細な地域の停電情報や復旧見通しなどが確認できます。
- 5 過去 3 日間の登録地域の停電通知履歴が確認できます。
- 6 過去 7 日間の停電情報が確認できます。
- 7 その他 (お知らせ、設定)

詳しくは、関西電力株式会社のホームページをご覧ください。

<https://www.kepco.co.jp/souhaiden/supply/teiden-appli/index.html>



3 防災総合訓練を実施します。

尼崎市では毎年「尼崎市防災総合訓練」を実動訓練と図上訓練を交互に実施しており、今年は尼崎の森中央緑地で実動訓練を行います。

災害発生時における国、県、民間団体などの各関係機関との連携や初動対応力の向上を図り、本市の防災体制を強化することを目的として実施します。

訓練の日時及び場所は次のとおりです。

日 時 8月30日(金曜日)
午前9時50分から12時(小雨決行)
場 所 尼崎の森中央緑地 大芝生広場 他
尼崎市扇町33-4
アクセス方法

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/hsk07/21mori/access.html>

この訓練の様子は見学することができます。

申し込みは不要です。当日、直接現地へお越しください。



出典：兵庫県ホームページ

4 ひょうご防災リーダー講座を受講される方へ(補助制度のお知らせ)

兵庫県では、地域防災の担い手である自主防災組織等のリーダーの育成を目的とした「ひょうご防災リーダー講座」を10月5日(土曜日)から約半年間、計12日間開講します。

講座の内容は、兵庫県広域防災センターのホームページ(<https://www.fire-ac-hyogo.jp/leader/>)に掲載されていますので、ご確認いただき積極的に受講していただきますようお願いいたします。

また、尼崎市では、「ひょうご防災リーダー講座」の受講に必要な経費について、補助を行います。

1 補助事業の対象者

尼崎市に在住か在勤・在学の方で、兵庫県が行う「ひょうご防災リーダー講座」を受講する方に対し、必要な経費の一部を補助するものです。

2 補助金額

補助する経費は、ひょうご防災リーダー講座の受講に要する費用として次に掲げるものとし、1人当たり11,000円を上限とします。

- (1) 講座内において使用される教科書代
- (2) 講座内において実施される日本防災士機構が認定する防災士の資格取得試験を受験した場合の受験料
- (3) 前号の資格取得試験に合格した場合の日本防災士機構への登録料

3 申し込み期限

令和元年10月31日(木曜日)まで

4 申請方法

申請書に必要事項の記入・押印の上、尼崎市役所災害対策課まで、郵送または直接持参の上、提出願います。

補助の条件、申請書の様式等は、市ホームページに掲載しています。

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/bosai_syobo/information/1017752/1017753.html

5 防潮扉点検操作訓練を実施しました。

国道2号の尼崎市と大阪市の境に架かっている左門橋。

この橋の東西両側には防潮扉があり、高潮発生時など、いざという時には閉鎖することになっており、昨年度は台風第21号を含めて3回閉鎖しました。

毎年7月の最初の土曜日から日曜日にかけての深夜に、関係機関と合同で防潮扉の開閉操作の訓練を実施しており、今年も次のとおり実施しました。

国道2号を通行止めにしての大掛かりな訓練は年1回ですが、鉄扉を動かすエンジンの始動などの日常点検は、普段から行われています。

1 訓練日時

令和元年7月6日(土曜日)午後10時30分から7月7日(日曜日)午前2時30分まで

2 訓練の目的

高潮来襲等に備え、関係機関の協力の下に、防潮扉開閉に係る点検及び体制の万全と水防関係職員の操作技術の向上を図ること。

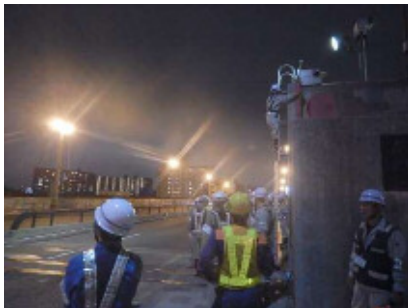
3 関係機関

国土交通省近畿地方整備局、大阪府、大阪市、大阪府警、兵庫県、尼崎市、兵庫県警、阪神電鉄、阪急電鉄他

4 通行止め等

国道2号、国道43号など公道に設置している防潮扉の操作訓練は一時通行止め。

阪神なんば線、阪急神戸線については最終電車通過後に実施。



防潮扉の上に登って運転します



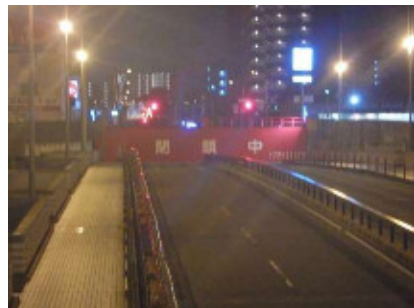
閉鎖を開始しました



閉鎖中です



閉鎖が完了しました



大阪市側も閉鎖しています



防潮扉の上から尼崎市側を望む

6 災害に備えましょう。

今年も台風や大雨が発生する時期になりました。

これらの災害に備えて、市民の皆様も改めて尼崎市防災ブックを活用して避難袋の用意や家具の固定、避難場所の確認など、災害に備える取り組みを行っていただきますようお願いいたします。

本市では携帯電話やパソコンのメール機能を利用して、気象警報や緊急情報などを発信する「尼崎市防災ネット」を運用しているほか、ホームページ、SNSでも防災情報を発信しています。

ぜひ、ご利用ください。

尼崎市防災ブック

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/bosai_syobo/information/1002162/index.html

尼崎市防災ネット

http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/kurashi/bosai_syobo/joho/021hyogobonet.html

フェイスブック尼崎市防災情報

<https://www.facebook.com/amagasaki.bousai>

尼崎市防災ツイッター

https://twitter.com/ama_hajimail

尼崎市LINE

アカウント名：尼崎市

ID：@amagasaki-city



7 今年度も気仙沼市へ職員を派遣しています。

令和元年7月31日現在の派遣状況

建設部都市計画課土地区画整理室：1名（土木職）

ガス水道部施設整備課：1名（土木職）

派遣期間・・・平成31年4月1日～令和2年3月31日

8 「ぼうさいアイアイ」に災害対策課の職員が出演しました。

「ぼうさいアイアイ」はFMあまがさきが毎週木曜日に、若者とフレッシュな防災トークを行い、尼崎市の地域防災力アップにつなげていく放送番組です。

7月25日に放送された「ぼうさいアイアイ」には災害対策課の職員が出演し、トークテーマである「防災情報のレベル化」について、「警戒レベル3」で高齢者や避難に時間のかかる方は避難を始めることや「警戒レベル4」では全員が避難することなど、大雨や風水害の危険性が高まっているこの時期に知っておいていただきたい、避難情報の読み取り方についてわかりやすく解説しました。



放送の詳細は次のとおりです。

- 高橋) おはようございます。パーソナリティの高橋優子です。
今日は尼崎市役所の災害対策課から安田結吏(やすだ・ゆいり)さんが来てくれています。
安田さん、また来てくれたんですね～、こうして一対一でお話しするのは久しぶりだけど、きょうは何か、大事な話なのかしら？
- 安田) はい！そうなんです。既にご存知の方もいらっしゃるかもしれませんが、防災情報の伝え方が、この5月から変更になっています。そこで、今日は「防災情報のレベル化」について、尼崎市民のみなさんにしっかりお伝えしたいと思います。
- 高橋) わたしそれ、ニュースで見たことがあります！ これまでの、「避難勧告」とかの情報に加えて、新たに「警戒レベル1」とか「警戒レベル2」とか、「数字で」情報が出されるんですね。でもその数字の意味が詳しくはわからなくて… なんだかまたややこしいことになっているのかなあって、ちょっと腰がひけていました。今日はぜひ、やさしい解説をお願いします！
- 安田) はい、では「防災情報のレベル化」とは、そもそもどういうことなのか、お伝えしたいと思います。昨年、大きな被害を出した「西日本豪雨」から、すでに1年を超えましたが、あの当時も、大雨に関する警報・注意報や、川の氾濫に関する情報、避難情報など、たくさんの情報が発表されていましたよね。でも、その情報が、残念ながら住民の避難にうまくつながらなかったという課題もありました。この教訓をふまえて、すこしでも情報がわかりやすく伝わるように、防災情報を「レベル化」して発信されることになったんです。先ほど高橋さんもおっしゃっていただきましたが、今後は、大雨・洪水警報や川の警戒情報、避難の情報などが警戒レベル1、2という呼び方で発令されるようになり、皆さんはそのレベル情報をもとに行動していただくこととなります。
- 高橋) たしか、5段階に分かれることになったんですね。レベル〇〇、と端的に言ってくると難しい言葉が並ぶよりも伝わりやすいのかもしれないけど… でも、何よりも、「どのレベルのときにどんな行動をとればいいのか」を、あらかじめ知っておかないと動けないですよね。
- 安田) そうなんです。もうすでに現在、さまざまな情報があって、ややこしいと感じていらっしゃる方もおられると思いますが、この機会にぜひいっしょに勉強しましょう！この警戒レベルのとらえ方なんですけど、1、2、3と、数字ごとに災害の「ピンチ度」を表すもの、と考えてください。
- 高橋) 「ピンチ度」、ですか。
- 安田) はい。警戒レベルは5段階ありますが、そのうち、警戒レベル1と2は気象庁が発表します。そして、警戒レベル3、4、5、は「市町村」が発令します。つまり、市内の河川や大雨の状況など、まちの「ピンチ度」の度合いを見て、尼崎市が出す情報なんです。
- 高橋) なるほど、数字が大きくなるほどに尼崎市のピンチ度も高いということですね。
それでは具体的に、それぞれのレベルは、どういうふうに読み取ればいいのかのでしょうか？
- 安田) はい、ここからすこしややこしいかもしれませんが、じっくり説明します。
まず、気象庁から発表される「警戒レベル1」と「警戒レベル2」についてです。このレベル1、2が発表されたら、避難の心構えをして、避難する方法を考えたり、ルートを確認したりするなどの準備をしてください。そして、この次のレベルから、尼崎市が発令する情報になります。まず、「警戒レベル3」です。「警戒レベル3」が尼崎市から発令されたら、高齢者の方や障害のある方など、避難に時間がかかる方は避難をはじめてください。また、お知り合いや地域で避難に困っている方がいたら、声をかけあって、いっしょに避難をしていただくと安心です。
- 高橋) 「警戒レベル1、2では避難の準備、警戒レベル3では避難に時間がかかる方は避難を開始する」ですね。特に、警戒レベル3では、やっぱりおひとりでの避難が難しい方もいらっしゃるかもしれないですし、助け合って避難していただきたいですね。
- 安田) そうですね、地域のみなさんで助け合うと、より多くの方が早めに避難することにもつながりますし、まずは、「**警戒レベル3で、助け合って避難開始!**」と覚えていただければと思います！そして、次に、まちのピンチ度がMAXになる手前として発令されるのが「警戒レベル4」です。これも、しっかりと覚えていただきたいです。「警戒レベル4」が発令されたら、「全員が避難する」と読みとってください。避難勧告・避難指示がこのレベルに相当していますので、発令対象地域の皆さんは、ただちに安全な場所に避難していただきたいです。
- 高橋) なるほど、「**警戒レベル4で全員が避難する**」。これは必ず覚えておきたいですね。
- 安田) はい、繰り返しになりますが「**レベル4で、全員避難**」です。このことは、本当に大切なので、覚えておいてください。また、さいごに、ダメ押しのレベルとして、ピンチ度MAXの「警戒レベル5」という段階もあります。しかし「警戒レベル5」は、大雨特別警報や河川の氾濫発生情報が出たことに相当して「すでに災害が発生している状況」ということを意味しています。ですので、避難を始めるタイミングとしては遅すぎるかもしれません。まだレベル5じゃないから大丈夫、と考えるのは危険ですので、ピンチ度がMAXになってしまう手前の「**警戒レベル4**」、これを、特に覚えてください！もし最悪の場合、避難が遅れて、「警戒レベル5」の段階になってしまったら、すみやかに「命を守るための最善の行動」をとっていただきたいです。
- 高橋) 警戒レベル5は、「もうすでに災害が発生している状況」ということですが、そうすると本当に命の危険も高まっていますよね。その前の段階、「**警戒レベル4で、全員避難!**」しておきたいですね。これ、みなさんの共通認識というか、合言葉にしていきたいですね。

- 安田) リポートしていただいて、ありがとうございます。たしかに、合言葉、いいですね！みなさんも、「**警戒レベル4で、全員避難！**」の合言葉で、ご家族やご近所の方みんな避難してください。
- 高橋) では、ここまでのおさらいをしておきましょう。
【警戒レベル1】【警戒レベル2】で、避難の心構えやルートの確認など「準備」をしてください。
【警戒レベル3】で、避難に時間がかかる方は避難を開始し、まわりの方とも助け合って避難してください。
【警戒レベル4】では、全員避難！これは必ず覚えておきたいですね。
【警戒レベル5】では、すでに災害が発生している危険な状況が想定されます。命を守る最善の行動をとってください。…これで、大丈夫ですか？
- 安田) はい！そうですね、ありがとうございます！あとひとつ、留意点があるのですが、「避難」とは、「必ずしも避難場所に行くだけが避難ではない」ということも心にとめておいて下さい。避難が遅れてしまったら無理をせず、3階以上の建物に上がる、堅牢なマンション等にお住まいの方は、屋内で安全確保をしていただくなど、それぞれ状況に合った避難の仕方があると思います。ですので、ご自身に合った避難方法を今のうちに想定しておいていただくと安心です。
- 高橋) なるほど、「必ずあの場所にはいかないとダメだ！」と思い込んで、無理をしてしまうとよくないでしょうから、行動が遅れてしまった時などには特に、まずは命を守る最善の方法を考えることを優先してください。で、最後に教えて下さい。この警戒レベルって、実際に災害が起きたときには、尼崎市からどうやって発表されるのでしょうか？どんなふうに情報を得たらいいのでしょうか？
- 安田) 尼崎市で実際にこの警戒レベルを発令するときは、防災行政無線や、尼崎市のホームページなどでお伝えします。また、今まさに皆さんがお聞きの「FMあまがさき」でも、災害時には緊急放送に切り替わり、災害情報をお伝えすることになっていますので、ぜひご活用ください。
- 高橋) 普段からラジオやネットなどを使い慣れていると、いざという時にスムーズに情報を得られると思います。ぜひ、今のうちから、情報を取得するツールも確認しておいてくださいね。さて、今日は「警戒レベル」についてお話していただきましたが、でもこれ、きょう解説してもらわなかったら、私もいざというときにどうすればいいのか、わからなかったわ。これからすこしずつ、からだに馴染ませていきたいと思います。
- 安田) そうですね！この「防災情報のレベル化」については、市報あまがさき7月号で記事を掲載しています。また、市HPの「避難情報の種類」というページでも公開しています。どちらも図を使って説明していますので、今回の内容をもう一度おさらいできるはずですよ。ぜひご覧いただき、さらに、まわりの人にも教えてあげてください。繰り返しですが、特に覚えていただきたいのは、「**レベル3で助け合い、レベル4で全員避難！**」です。今後、大雨や台風が多くなり災害の発生が高まる季節を迎えます。いざというときは、地域のみなさんと声をかけあって、早めの避難をお願いします。
- 高橋) いざというときの情報をしっかりキャッチできるよう、みなさんも市報あまがさきやホームページで「防災情報のレベル化」について、確認しておきましょう。
ということで、シリーズ「ぼうさいアイアイ」、きょうはここまで。また来週、お耳にかかります。

以上